

Q

来年4月からの国保
県単位化に向けて

太田 忠芳 議員



A

激変緩和には公費の投入や財政
調整基金の活用が大きな役割

問 国民健康保険税の激変緩和措
置の対象となる一定割合以上増加
した場合は。

答 埼玉県が示した仮係数に基づ
く秋の試算では、一人当たりの納
付金額の伸び率がプラスになる市
町村を対象としている。なお、1
月の確定係数に基づく算定では、
見直されることが予想される。

答 下げを実施できるか。
一般会計からの法定外繰入金
や国民健康保険特別会計財政調整
基金を活用することで、県が示す
標準保険税率を引き下げること
も可能になると考える。

問 保険者努力支援制度における
県が定める重点指標は。また、マ
イナス配分はあるのか。
答 収納率、特定健康診査受診率、



糖尿病性腎症重症化予防対策事業
の実施などである。加点方式のた
め、マイナス配分はない。

問 市町村を対象とした保険者努
力支援制度での重点指標は。

答 糖尿病性腎症重症化予防対策
事業の実施、収納率、一般住民に
よる予防・健康づくりの取組を推
進する事業の実施などである。

◎その他の質問

一 ネウボラでどこまで子育て支
援か
二期日前投票所の改善点は



さらに鶴ヶ島市を
一步前へ

高橋 剣二 議員

Q

A

前市政の政策の方向性を受け
継ぎ、前向きに進める



市役所庁舎

問 現在の鶴ヶ島市の問題点は。

答 少子高齢化の進行、公共施設
の老朽化、多くの借地などである。

問 リーディングプロジェクトの
今後の方向性について。

答 水土里の交流圏の構築では、
全体のまちづくりの方向性を見極
めながら検討していく。

問 今後の行政運営、行政組織の
あり方は。

答 鶴ヶ島市行政改革推進計画に
基づいて、効果的な行政運営を継
続し、組織と職員意識を活性化し
ていく。

問 産業を発展させる政策は。

答 発信力の活用、農・商業にお
ける継続と転換、新規参入などの

ほか、いわゆる地域未来投資促進
法に基づく計画を進めていく。

問 都市基盤整備の方向性は。

答 地域の特性に応じた手法によ
る都市基盤整備を進めていく。

問 鶴ヶ島市の教育とは。

答 鶴ヶ島市教育大綱に基づき、
子どもたちに必要な学校教育を
実現するよう取り組む。

問 今後の財政運営のあり方は。

答 自主財源の更なる確保を図る。

問 市長として、これだけは取り
組みたいというものは何か。

答 市有財産の更なる有効活用に
ついて、民間からのアイデアを
募る手法も含めて検討したい。